

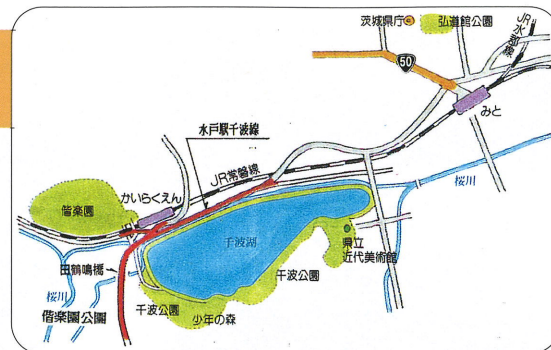
都市局長賞

都市計画道路 水戸駅千波線道路改良事業 (水戸市)

■表彰対象者：茨城県土木部都市局公園街路課

表彰の理由

軟弱地盤の改良工法、交差点処理などの構造に工夫が見られるほか、偕楽園公園の歴史的な景観にも配慮したデザインにより、公園と一体となったゆとりと潤いのある都市空間が創出された。



常磐陸橋側より交差点方向を望む



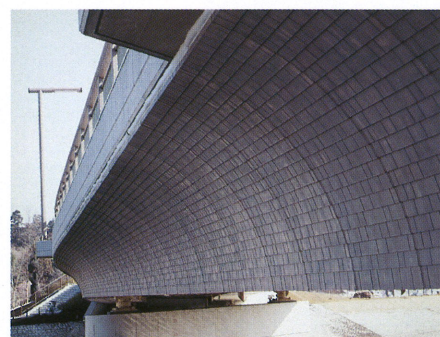
田鶴鳴橋



好文亭寿楽樓富士見窓からデザインした親柱



好文亭の桧製丸柱、竹製の明り窓を参考にした照明灯、高欄



好文亭の桧葺き屋根の模様をデザインしたアルミ製桁化粧柱

事業の効果

近接するJR常磐線への影響を回避しながらの地盤改良工など、工期が短い上に予想以上の困難な工事となったが、無事「全国都市緑化いばらきフェア」の開催までに完成させることができた。変則交差点の改良等により交通の円滑化が図られたばかりでなく、県内有数の景勝地である当地区の景観にも溶け込んで、行き交う人々に親しまれている。

- 延長：1,650m
- 幅員：12～18m
- 全体事業費：6,100百万円
うち街路事業費：5,682百万円
- 事業期間：平成2年度～4年度

事業のあらまし

本事業は、偕楽園公園、千波公園において開催された第10回全国都市緑化いばらきフェア会場へのアクセス道路として、水戸市の南北軸である水戸駅千波線を改築したものである。

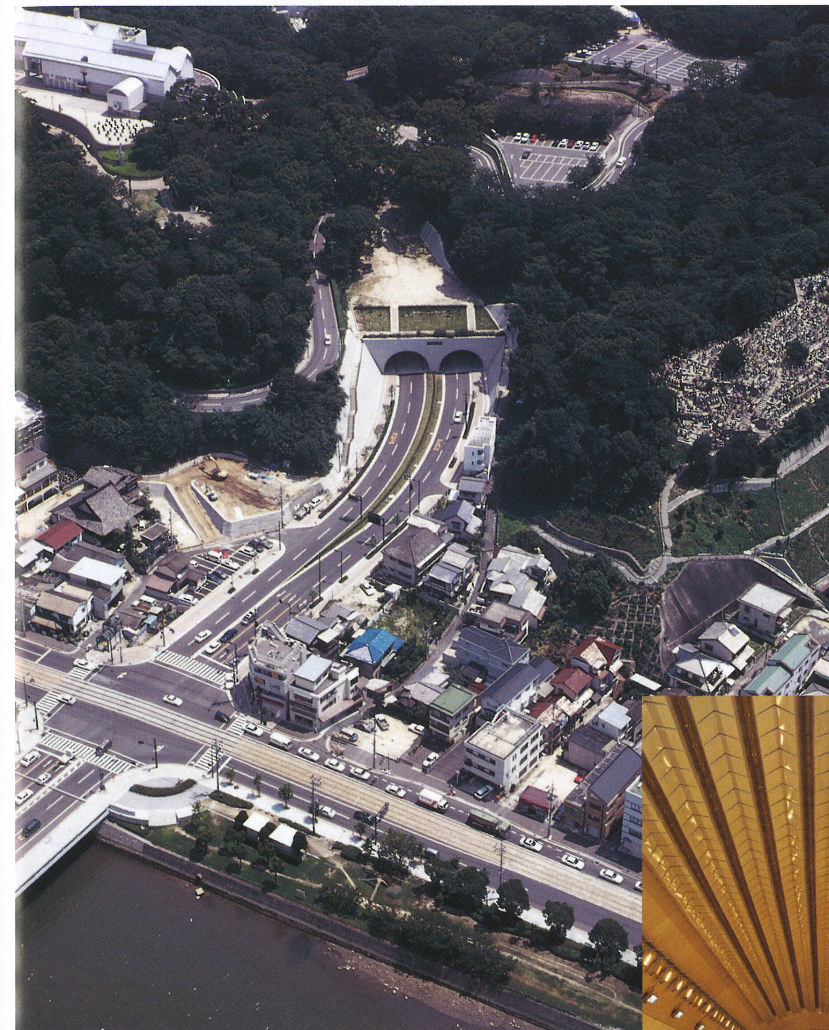
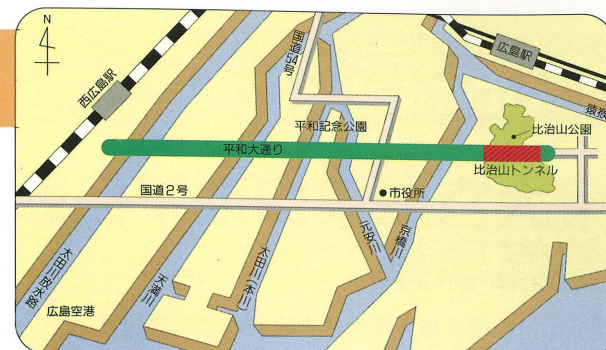
当区間の大部分は軟弱地盤であり、また低地帯であったため、地盤改良工（深層混合処理）を施工するとともに、増水時の道路水没対策として道路計画高を最大で約1.5m高くした。また、公園区域内を通過する道路であるため、特に景観との調和を重視し、橋梁部、歩道部、照明、信号等についてはハイグレードのデザインとした。

都市計画道路 比治山東雲線 (比治山トンネル)整備事業 (広島市)

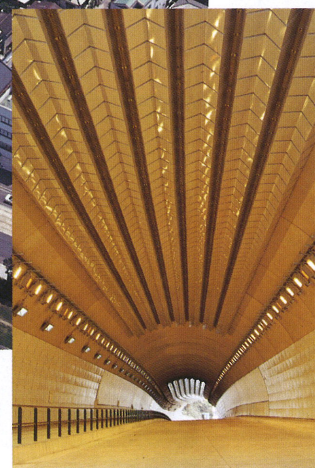
■表彰対象者：広島市道路交通局

表彰の理由

公園直下の少ない土被り、複雑な岩盤を最新技術により克服して、土木技術の向上に貢献するとともに、デザイン的にも周辺景観との調和を図り、ゆとりある歩行者空間を備えた幹線道路（トンネル）として整備された。



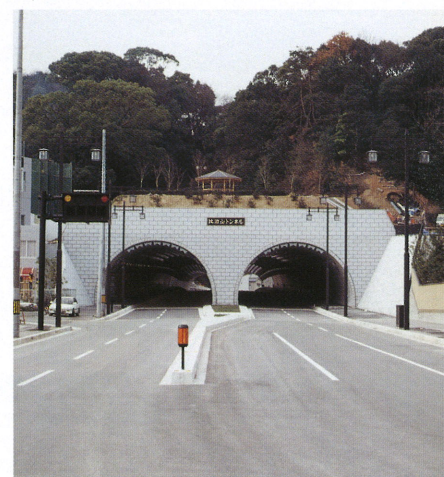
遠景



トンネル内部



起点側



終点側

事業の効果

比治山トンネルの完成により、比治山に隔てられた段原地区と都心部とが直結され、利便性が大きく向上するとともに、トンネル坑口部に石張工等により、緑あふれる周辺景観に調和させ、再開発事業により近代的な街づくりが進む段原地区の発展に大きく寄与するものと期待されている。

- 延長：405m（トンネル259m）
- 幅員：26.5～29.6m（トンネル11.25×2ライン）
- 全体事業費：6,400百万円
うち街路事業費：6,400百万円
- 事業期間：昭和56年度～平成4年度

事業のあらまし

比治山トンネルは、広島市中心市街地に位置し、現代美術館などの文化施設の整備が進む比治山公園（比治山）の直下を貫く道路トンネルである。本路線は、比治山により隔てられた段原地区と都心部とを直結する幹線道路であり、原爆の災禍から免れた古い街並みを再開発し、近代的な街づくりを進める段原土地区画整理事業と一体的な整備を図ったものである。